

パナソニック オートモーティブシステムズ オープンカンパニー FAQ

当社のオープンカンパニー(会社説明会)で、「よくある質問」をご紹介します。

目次

[1.インターンシップについて](#)

[2.当社の事業や仕事について](#)

[3.当社での働き方や研修・福利厚生について](#)

[4.当社の採用方針について](#)

1.インターンシップについて

Q：インターンの応募にあたり、必要な能力などはありますか？（例：プログラミングの知識など）

A. OJT インターンシップ「[募集テーマ](#)」に記載のあるスキルをご確認ください。

<https://recruit.jpn.panasonic.com/internship/courses/ojt/index.html>

Q：大学院での専攻と少し異なる分野のインターンへの参加は可能でしょうか？

A. 問題ありません。専攻と異なる分野での参加を希望するのか、理由を明確にしてご参加ください。。

Q：現在学び始めている内容の技術職のインターンシップに参加することは難しいでしょうか？

A.問題ございません。ご自身の参加したい内容で、ご応募ください。

Q：理系なのですが、営業職のインターンを受けることは可能でしょうか？

A.可能です。

Q：受け入れ可能人数は、1コースあたり1人でしょうか？

A.1テーマにつき、1～2名ほど受け入れるケースが多いです。

Q：インターンシップの拠点が住居から遠い場合に、宿泊施設の提供はありますか？また、それによる選考への影響はありますか？

A.インターンシップ参加に伴う交通費や宿泊費は当社が負担いたします。また、それらによる選考の影響はございませんので、ご安心ください。

Q：インターンシップ募集画面に、第1、第2、第3希望とありますが、パナソニックグループ全募集テーマから3つを選ばばよいですか？

A:はい、パナソニックグループの全募集コースから第 1、第 2、第 3 希望をお選びください。

Q:夏のインターンシップに参加したいのですが、学会と日程が重なり、参加できません。冬や春にも同じようなインターンシップはありますか？

A:1 月に春季インターンシップを開催を予定しています。ただし、夏季インターンシップと同じテーマが無い場合もございますのでご了承ください。

Q:希望するインターンシップコースの最終日が学会と重なっています。参加日程の相談は可能ですか？

A:面談の際に、参加不可能な日をお伝えください。

2.当社の事業や仕事について

Q: パナソニックグループの中で、オートモーティブシステムズの特長は何ですか？

A:車載事業を担当している点です。

現在、モビリティ業界は「100 年に一度の大変革の時代」に入っていると言われています。

CASE(Connected (接続)、Autonomous (自動運転)、Shared & Services (カーシェアリングとサービス)、Electric (電動化))と呼ばれる技術革新が急速に進むなか、当社はパナソニックが培ってきた家電や住宅での経験やノウハウ、技術を集結し、「ひと」や「暮らし」に寄りそった新たな「移動体験」を提供していく会社です。事業としても、また、個人のキャリアとしても、成長性や将来性が期待できます。

また、BtoB ビジネスながらも、「自分が開発した機能が搭載されている車を、自身で購入できる」という点にやりがいを感じる先輩社員もいます。

Q:モビリティ業界でどのような差別化を目指していますか？

A:当社は、「一人ひとりのより良い暮らしの実現のため、持続可能なモビリティ社会を創造する」をミッションに掲げています。

特に「車載インフォテインメント (英語:IVI) (*注)」の分野では、パナソニックグループが 100 年以上「ひと」や「暮らし」に寄りそってきた強みを生かして、大きな世界シェアを占めており、市場をリードしています。

*注 車載インフォテインメント (英語:IVI) : 自動車のドライバーや同乗者が必要とする情報や娯楽を提供することで運転をサポートしたり、快適性を向上させたりするサービスやシステム。

さらに 2030 年に向けて、特に以下 3 つの事業に注力していきます。

・コックピット統合ソリューション

これまでの自動車開発は、IVIをはじめとした車のさまざまな機能を、100個もの車載コンピューター (ECU) で制御していましたが、CASE (接続、自動運転、カーシェアリングとサービス、電動化) の技術革新により、ソフトウェア開発の量が指数関数的に増加していることが業界の課題になっています。当社はIVIでの実績や仮想化など基盤技術の強みを生かして、これらのECUをHPC (High Performance Computer) に統合、完成車メーカーやグローバルITプレーヤーとも協業して、高性能処理の実現や開発効率の向上に貢献します。

・車室空間ソリューション

パナソニックグループらしさを活かした「ひと」に寄り添った、新しい移動体験を提案していきます。

(例)

- ・視覚や聴覚をサポートする運転支援 (自転車の巻き込みを検出する。救急車の音を聞こえやすくするなど)
- ・衛生に配慮した車室空間 (空間の除菌、床面の除菌など)

・車載充電器

電気自動車 (BEV) の核となる技術の一つが車載充電器です。家庭用電源等の交流電源 (AC) を直流電圧 (DC) に変換して車載電池に充電するための変圧を担います。

当社の高電圧・高出力充電器は非常に競争力と付加価値があり、世界トップ数社に入るレベルです。また、車載充電器の変換効率を向上するとCO2排出量を削減できます。その貢献度は他の産業と比較しても大きく、地球環境保全という社会課題の解決に直接的に貢献しています。

Q: 開発の仕事のイメージを具体的に教えてください。

A: 開発の仕事は、「研究開発」と「製品開発」の2種類に分かれます。

「研究開発」は当社の事業の未来を担うさまざまな先行開発を行っています。例えば、ソフトウェア技術やクラウド技術を駆使した製品プラットフォームの開発や、車載セキュリティ、車載部品へのAIの実装、車内外の状態を検知するセンシング技術や信号処理の研究などを行っています。

「製品開発」は先行開発した技術をお客様に渡せるレベルに仕上げる量産設計を担当します。ソフトウェア設計や回路設計、機構メカニズム設計、生産プロセス技術、データマネジメントなどの職種があります。

Q: 製品は、開発した後に完成車メーカーに売り込むのですか。あるいは、完成車メーカーから要望を受けるのでしょうか。

A: どちらのケースもあります。開発が完了したものを単純に販売するのではなく、よりお客様のニーズに沿ったソリューションを完成車メーカーと共創しています。

Q:完成車メーカーとの共同開発の事例を教えてください。

A:例えば 2023 年 3 月 15 日に以下の発表をしました。

[パナソニック オートモーティブシステムズがマツダとの共創でソフトウェア開発の新プロセスを確立
手戻りのない開発連携で新製品の開発効率を大幅に向上
https://news.panasonic.com/jp/press/jn230315-1](https://news.panasonic.com/jp/press/jn230315-1)

Q: 研究開発を担当する「開発本部」は横浜と門真と 2 拠点あるようですが、具体的にどのように役割分担をしているのでしょうか？

A:同じテーマを横浜・大阪の入り混じりで研究しているケースが多いです。

・本社のある横浜

・パナソニックグループの他の研究開発拠点と連携しやすい大阪

それぞれの地の利を活かし、リモートで連携しながら、研究開発を行っています。

Q:英語を使う機会はどのくらいありますか。

A:英語を使う機会はあります。ただし、配属される部署や担当業務によって頻度は異なります。当社には日本を含む世界 22 カ国/地域に拠点があり、英語を使ったチャットやメール、オンライン会議などのやり取りを日常的に行う仕事もあります。さらには海外出張や海外出向の経験を積む先輩社員もいます。

3.当社での働き方や研修・福利厚生について

Q:研修制度には、どのようなものがありますか？

A:新入社員研修～キャリア形成のための研修など幅広く実施しています。

詳しくは、採用 HP「[キャリアパス](#)」をご確認ください。

<https://recruit.automotive.panasonic.com/career-pass/>

Q:最初の配属は内定時に職種と勤務地が確約されるとのことですが、その後転勤を命じられることは多いのでしょうか？

A:異動には 2 種類あります。

・会社が個人のスキルやキャリア形成を踏まえて、異動を求める場合。

・本人がキャリア形成のため、自ら希望して異動する場合。

その結果として、転居が伴う異動が生じる場合もあります。

Q:チームワークを重要視していますか？

A.重要視しています。

チーム全体が力を合わせて、お客様起点で行動することを大切にしています。「衆知を集めた全員経営」は、当社の経営理念の一つです。

Q：福利厚生の特長はありますか？

A:社員が仕事と生活を両立させつつ、その能力を十分に発揮できるよう、さまざまな休暇制度や福利厚生制度を設け、ワーク・ライフ・バランスの実現を支援しています。

詳しくは、採用 HP「[ワーク・ライフ・バランスを実現する福祉制度](#)」をご確認ください。

<https://recruit.automotive.panasonic.com/work-style/#section3>

4.当社の採用方針について

Q：どのような人材を求めていますか？

A.100年に一度の大変革を迎えているモビリティ業界で、「人」や「暮らし」に寄りそったパナソニックらしいイノベーションを生み出し、チャレンジしていくことができる人材を求めています。

Q:研究室の専攻と業務の専攻は合致していないといけませんか？

A.合致は必ずしも必要ではありません。

Q:採用基準としてかなりの専門技術・知識がもとめられますか？

A.具体的かつ高い専門技術・知識は、入社後研修を通して身に付けていただきます。

採用 HP「[成長を支えるさまざまな職種](#)」にて、各職種で歓迎されるスキルや知識が記載されていますのでご確認ください。

<https://recruit.automotive.panasonic.com/job-guide/>

Q:配属はどのように決定されますか？

A.面談での内容やご本人の希望・適性など総合的に判断し、決定されます。

Q:選考に際して、何を重視されますか？

A.学生時代に何に取り組み、課題にどう向き合ってきたか。人柄やチャレンジ精神などを重視しています。

以上